

【一年】昔遊び名人を目ざして

冬休み明けに、福笑いやカルタ取りなどのお正月の遊びを楽しんだ子どもたち。「他にも昔からある日本の遊びがたくさんあるよ」と声をかけると「やりたい！」と目を輝かせました。そこで、地域の老人会の方たちに協力していただき、「昔の遊びを楽しむ会」を行いました。

こまやけん玉など、さまざまな遊びを地域の方に教えてもらいながら、楽しみました。しかし、初めて経験する遊びが多く、なかなか上手にできません。会の終了後には「できるようになりたい」という気持ちが高まり、「昔遊び名人」を目ざして練習が始まりました。何度も練習していくうちに、遊び方のコツをつかみ、こつや工夫を伝え合うようになり、どの子どもも上手になり、遊びたいという思いをもって、夢中になってがんばる姿が見られました。「できた！」と明るい声が響き、うれしそうにしている子がいると、周りの子どもと一緒に喜んでいきます。昔遊びを通して、子どもたちの優しい心も育っているように感じました。



【二年】岩田わくわく公園探検隊

岩田校区にはたくさん公園があります。生活科では、二学期から公園探検を始めました。ふだんから楽しく遊んでいる地域の公園も、改めて観察してみると、さまざまな発見や疑問がありました。この木や花はなんという名前なんだろう。どうしてここに植えたんだろう。倉庫には何が入っているんだろう。そして、誰が、この楽しい公園を作ってくれて、今もきれいにしてくれているんだろう。子どもたちだけで話し合っても、答えのわからない疑問も多くありました。

そこで、地域の方にご協力をいただいて、公園でインタビューを行いました。子どもたちは疑問を解決しながら、公園は地域の方々のさまざまな目的のためにあること、また地域の方々が清掃などを通して維持してくれていることに気づきました。



【三年】大好きー岩田

校区探検、赤岩車庫見学、スーパーマーケットの見学、民俗資料収蔵室への校外学習。岩田校区の学習を通して、今まで当たり前だった「人」「もの」「こと」の中に「岩田校区らしさ」をたくさん見つけることができました。「市電の駅が二つもあって、倉庫があるのは岩田だけだね」「校区の東側と西側は全然違う！」「日本語じゃないお店がたくさんあるよ」「日本人以外の方がたくさんいるのって岩田ならではのなんだね」などの気づきを共有し、校区に対する愛着を高めました。そして、「もっと安心して、安全にくらせる『みんなが大好きなまち』」をテーマに個別のテーマを決めました。「もし災害が起きたらどこへ逃げればいいの?」「日本語がわからないとき、どうしたらいい?」「岩田校区の危険な道は?」「岩田校区を見守ってくれている人は?」など、地図やインターネットを活用したり、家族に聞いたり、自身の経験を振り返ったりしながらグループで協力して調べて発表をしました。子どもたちは、新たな発見とともに「もっと」岩田校区に対する関心を高めることができました。



【山びこ】仲間とつながる交流会

四ブロック特別支援学級の交流会を行いました。六月には本校に豊岡中学校・豊小学校の児童を招き、体育館でダンスをしたり、ゲームをしたりしました。初めて会う仲間と、互いの顔を見て楽しく会話をしたり、手を取り合ってダンスやゲームをしたりする姿が見られました。

九月には、キャンポルへ出かけ、三校合同のボウリング大会を行いました。順番やルールを守ってゲームを進めることができました。また、同じチームになった他校の友達とハイタッチをしたり、応援をし合ったりして、楽しい時間を過ごしました。一月には六年生が東陽中学校へ出かけ、多米小学校の六年生と一緒に、東陽中学校の生活や学習について、中学生に教えてもらいました。緊張しつつも、先輩に優しく教えてもらいながら作業をしたり、四月から一緒に通学する多米小学校の同級生の名前を覚えていたり、有意義な時間を過ごすことができました。



校訓 みんなで 明るく たくましく 令和6年度 岩田小学校のあゆみ

【国際】日本語、わかるようになったよ!

日本語を全く話せなかった一年生の国際教室の子どもたちも、簡単な日常会話ができるほどに日本語が上手になってきました。授業のはじめに「あいさつ歌」や「一週間の歌」、「日付の歌」などを動画とともに歌い、五十音や曜日・日付の言い方や順番を楽しく学習しています。日付や曜日を聞かれたときには、その歌を口ずさみながら、答えています。



低学年や中学年では、ワークシートに記入するときに、記入する枠を色分けし、視覚的にわかりやすくする支援を取り入れています。子どもたちは、色をたよりに言葉を見つけて、ワークシートに書き込んでいます。高学年では、教科書の本文を穴埋め式にしたワークシートを用意し、自分で本文を読んで、言葉を探して記入しています。色分けのワークシートで取り組んできた成果もあり、とても上手に言葉を探すことができるようになってきました。国際教室で学ぶ子どもたちは、それぞれの日本語の力に応じて、学校生活に力いっぱい取り組んでいます。

【四年】誰もが過ごしやすい岩田小に

岩田校区、岩田小学校は「多文化共生」を学習するうえで、よい環境がそろっています。四年生では、オルポジ(総合)の学習として外国籍児童の困り感に目を向けました。「岩田小には外国語表示があるけれど、転入したばかりの外国籍の子が迷ってしまう」という現状に疑問をもち、日本の子どもも外国籍の子どもも「誰もが過ごしやすい岩田小」にするためにできることを考えました。その中で、岩田団地の自治会長や、岩田団地で生活する外国籍の方の話や、外国籍の子たちと直接困っていることを聞いたりしました。そして、今の岩田小に必要なものを考え、「追加の外国語表示」「通訳カード」を作ったり、お互いの文化を知るために「食べ物」「あいさつ」「遊び」について調べたりしました。

その後、お互いの取り組みを学年集会で共有したり、動画を作成して全校児童や保護者、地域の方に伝えたりしました。「誰もが過ごしやすい岩田小」にするために積極的に取り組む、学校や地域への関心を高めることができました。



【五年】岩田再発見、岩田運動公園

総合「岩田再発見」として、岩田校区の憩いの場である岩田運動公園について学習しました。豊橋東部みどり会こども絵画展に参加した際に、五年生全員で岩田運動公園を訪れました。散歩する中で「散歩している人は、毎日来ているのかな」「水神池には、どんな魚がいるのかな」など、さまざまな疑問が出てきました。そこで、自分で調べたいテーマを決め、インターネットを使って調べたり、岩田運動公園を再度見に行ったりしました。活動を通して、子どもたちは、「昔の水神池の様子も知りたい」「近くにある神社は、公園と関係があるのかな」などの新たな疑問をもちました。そこで、地域の大神さんと青木さんから、岩田校区の歴史や水神池の用途の変化などの話を伺いました。調べたことや聞いたこと、実際に見たことなどを、みんなに伝えたい岩田運動公園の魅力を考え、タブレット端末を使って動画の作成と発表を行いました。子どもたちは、岩田校区の魅力に気づき、地域に対する愛着を高めることができました。



【六年】防災を考える、岩田校区に目を向けながら

総合的な学習の時間では、「いざ」といとき大丈夫!今私たちにできる地震対策」をテーマに、「南海トラフ地震」にかかわること、その防災対策について学習しました。

豊橋市ハザードマップによると、校区には最大震度七の揺れが予想されること、豊橋市全体で七万棟もの家屋が倒壊することなどがわかってきました。「こんなに地震が起きたら本当にこわい。どうしたらいいのかな」という思いから、自分たちが考える防災対策に目を向けました。校区には、いくつかの防災倉庫があること、岩田小学校や豊丘高校が避難所として指定されていることなどを調べていきました。地域で災害対応の準備がきちんとなされていること、安心する一方、防災備蓄食料の数にも限りがあること、避難所におけるプライバシー問題の解決が難しいことなど、個人としても大地震に対する備えが必要である、ということにも気づきました。学習を終えて、個々の防災に対する知識と、防災意識の高まりを感じることができました。今後、ご家庭でも、防災について話題にしていきたい、対策を進めてくださると幸いです。

